24ページ

保護者やコーチ・監督の皆様へ。

大切なお子様や若いアスリートを守り、一人一人の可能性を開花させるために、未成年（18歳未満）のアスリートには、保護者、コーチや監督、周囲の皆様の協力と適切なアドバイスが欠かせません。皆様からの協力が必要なことは、以下の通りです。

クリーンスポーツ行動・習慣化。

保護者や周囲の皆様は、アスリートを支える「サポートスタッフ」となります。サポートスタッフの役割と責務は、世界アンチ・ドーピング規程で定められています。

ルール違反の項目。

アンチ・ドーピング規則違反は、アスリートだけでなく、保護者やコーチといったサポートスタッフにも適用されます。特に未成年のアスリートが、アンチ・ドーピング規則違反とならないよう、注意が必要です。また、未成年のアスリートが違反を問われた場合、コーチらサポートスタッフに対してもドーピング調査が自動的に行われます。

健康を守るため。

病気やケガの治療で禁止物質・方法を使わなければならない場合、治療を受ける前に治療使用特例（TUE）の申請が必要なカテゴリーのアスリートがいます。＜クリーンスポーツ・アスリートサイト＞で対象をご参照のうえ、必要に応じてTUE 申請を行ってください。

自身がクリーンであることを証明。

未成年のアスリートには、ドーピング検査を行う際に、次のような配慮（特別措置）がなされています。

・ドーピング検査の対象となった場合に、検査を担当する検査員（DCO）に、親権者のサインが入った「同意書」を提出します。

チェック。競技会出場前に、大会要項を必ずご確認ください。

チェック。一度DCOに「同意書」を提出済で、ドーピング検査の対象となった場合は、「すでに提出済」と、DCOにアスリート自身が伝えられるようにしましょう。

チェック。ドーピング検査室（DCS）でDCOに親権者のサインが入った「同意書」の提出ができない場合は、検査後7日以内に、ジャダ事務局へ郵送にて提出します。

・信頼性が確保されたドーピング検査を受ける権利を守るため、検査には成人の同伴者が必要です。※コーチ等の、保護者以外の方でも構いません。

アスリート自身がクリーンであることを、一緒に証明。

・保護者の方と一緒に行う「レベルアップチャレンジ」の項目があります。ぜひお子様やアスリートと一緒に考えたり話し合ったりして、理解を深めてみてください。

・「レベルアップチャレンジ」に取り組んだら、各ページに日付を入れたり、シールを貼ったりして楽しみましょう。いつでも戻ってきて、また一緒にチャレンジしましょう。

アンチ・ドーピングのルールやスポーツの価値のより詳しい内容は、クリーンスポーツ・アスリートサイトを確認。